



特集

一歩踏み込む地域活動

地域に根づいたスポーツチームには、まちを一つにする大きな力がある。また、地域への感謝を込めて、多くの企業がさまざまな活動に取り組んでいる。今号は、地域と共に活動するスポーツチームや、地域活動に力を入れている企業の事例を紹介する。



目指すのは、地域に密着した オンラインワングのチーム

女子バレーボールのトップリーグ、V・プレミアリーグに所属する岡山シーガルズは、複数の企業やサポーターの支援を受けて活動している市民クラブチームだ。バレーボール教室や講演会、地元イベント、社会貢献活動に積極的に参加するなど地域に密着した活動にも力を入れながら、元気の岡山を全国に発信している。

昨シーズンは3位に躍進！

8チームが優勝を争うV・プレミアリーグで唯一の市民クラブチームである岡山シーガルズ。12/13シーズンはチーム史上最高の3位という好成績を収めた。今シーズンは、昨年のロンドンオリンピックで銅メダル獲得に貢献した山口舞選手がキャプテンを務め、4人（宮下遥選手、関李香選手、川島亜衣美選手、丸山亜季選手）が全日本メンバーに選出されている。

かつては東芝に所属していたが、

99年に休部となったことから、監督を務める河本昭義さんはクラブチームへの移行を考える。

「きっかけは、東芝に所属していた当時、オランダのナショナルチームの監督に『日本のチームは恵まれている。オランダはナショナルチームでもスポンサーを集めながらやっている』と言われたことでした」と河本監督。市民や地域に密着した存在を目指し、富山県に移転してクラブチームのシーガルズを立ち上げた。

バレーボール界初の 市民クラブチームが誕生

岡山県への移転の話が持ち上がったのは01年だった。

「私自身が岡山（笠岡市）出身ということもあり、県のバレーボール協会から、クラブチームだったら岡山で活動してもよいのでは、というお話をいただきました。

2005年の岡山国体に向けての強化と競技力の向上を目指したい



▲地元の熱い声援を受けてV・プレミアリーグを戦う岡山シーガルズ

岡山シーガルズ

岡山県岡山市

とも言われ、移転を決めたのですが、そのときは国体が終わってか

らのことはまったくの白紙でした」岡山に拠点を置いたシーガルズ